

今週

1. 10月2日(日) 14:00より当教会において中ブロック協議会があります。

各委員会・係からのお知らせ

1. 教会評議会より・

前田万葉大司教様より、「前田万葉句集」・「前田万葉句集Ⅱ 雲の峰」の2冊の句集をいただきました。信徒館の書棚に置いてありますのでご覧ください。ただし、持ち出しはしないようお願いいたします。

2. 社会活動委員会より・

①9月8日(木)は、鈴蘭台の炊き出し担当日でした。配給数69名に対し、15名の皆さんにご支援をいただきました。また、募金並びにお米の寄贈にも厚く感謝いたします。これからも祈りとともにご協力をよろしくお願い申し上げます。

②ウクライナ危機人道支援「緊急募金」について

9月の第一日曜日の4日10,410円、第二の11日28,107円の合計38,517円をカリタスジャパンに送金いたしました。ご協力ありがとうございました。月の第一・第二日曜日に募金箱を設置します。これからも継続して皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

③カトリック社会活動神戸センターからの講演会のお知らせです。

「マザー・テレサに学ぶ祈りの心」

1997年にマザー・テレサが帰天して、今年で25年。この機会に、マザー・テレサを支えた祈りについて片柳神父にお話しいたします。マザーは、何をどう祈ったのか、どうすればわたしたちもマザーのように生きられるのか、きっとたくさんのヒントがもらえるはずす。

日時：2022年10月10日(月・祝) 13:00 開場 14:00～15:30 講演

場所：カトリック神戸中央教会 主聖堂

以上、詳細は掲示板をご覧ください。

3. ヨセフ会より・

10月2日(日) ミサ後、信徒館2Fにてヨセフ会を開催します。今回は班別を問いませんのでご出席下さい。

4. 典礼委員会より・

10月の主日のミサの開始5分前の9時25分からロザリオの祈りを1連唱えます。皆様よろしくようお願いいたします。

5. レジオ・マリエより・

10月はロザリオの月です。マリア様と共に祈り、イエズス様を思い、イエズス様の愛と平和を願いましょう。10月中の毎金曜日(7日、14日、21日、28日)のミサに引き続いて「ロザリオの祈り」をいたします。どうぞご参加ください。

6. 大阪教区より・

2022年「大阪教区典礼研修会」について

日時：10月23日(日) 14:00～16:00

場所：カトリック大阪梅田教会 聖堂

テーマ：「新しいミサ曲を学ぶ」

講師：日本カトリック典礼委員会 宮越俊光氏

どなたでも参加できます。また、後日この研修会のユーチューブ配信があります。

7. その他・

① ミサ参加にあたってのお願い

- (a) 体調不良の場合は、ミサへの参加を自粛してください。
- (b) ミサ参加時は、マスクを着用してください。
- (c) 入館時にはアルコールでの手指消毒をお願いします。
- (d) 今後もコロナ感染症対策のため、ミサ中上部窓開放、下部窓より排気など換気を十分に行います。気候に合わせて各自自主的に対策をし、体調管理に十分ご注意ください。

② 10月主日ミサ参加班分け・司式司祭

主 日 等	参加班	司 式 司 祭
10月2日(日)	B班	安旻祐神父
10月9日(日)	A&C班	安旻祐神父
10月16日(日)	B班	安旻祐神父
10月23日(日)	A&C班	安旻祐神父
10月30日(日)	B班	安旻祐神父

A&C班 = 鈴蘭台地区&西神、三木、小野地区

B班 = 北鈴蘭台地区より北神地区

教区の皆様

大阪大司教 前田万葉

世界難民移住移動者の日について

†主の平和

9月25日(日)は第108回の世界難民移住移動者の日になります。故郷を離れざるを得なかった人々、その理由は様々であれ、彼らの異郷での生活の大変さは決して小さいものではないと感じます。郷愁といったものは常の付き物ですし、言葉や文化の違う処で、例えば、無理やり、根こそぎ抜かれた草木のように生きていくようなものです。私たちは、キリスト者として海外からのこの兄弟姉妹達を温かく迎え、交わっていくべきでしょう。福音の言葉に耳を傾けていただきますと、

そこで、王は答える。「はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイ 25.40)

毎年、「世界難民移住移動者の日」に集められた献金は、日本カトリック難民移住移動者委員会による活動や援助のために使われます。昨年度に大阪教区でいただいた献金は、812,616円でした。皆様のご協力に心から感謝いたします。

今年は、「INTERNATIONAL DAY (旧国際協力の日)」を教区行事として行うことを予定しております。別途お知らせいたしますが、直接会場に足を運ばれない方々にも、異郷の生活を営んでいる兄弟姉妹達のためにお祈りをお願いいたします。

祈りと感謝のうちに

本日の堂内献金はこのために捧げられますので、よろしく願いいたします。